

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(社会・地図) 小委員会委員長

福 井 順 一



<p>調 査 研 究 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍、帝国書院の地図の 2 者 <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回調査委員会（7 月 8 日）で地理的分野 4 者、歴史的分野 5 者、公民的分野 4 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（8 月 3 日、4 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。 <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱内容については、社会科の目標が達成できるようどのような学習活動が取り上げられているか、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応についてという視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列・については、どのように系統的・発展的に学習できるように工夫されているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組むことができる工夫、使用上の便宜が図られているかという視点で調査整理した。
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) ・東京書籍については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応において、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かること整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられているという特色があり、優れている。</p> <p>・帝国書院については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応において、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられているという特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、東京書籍と帝国書院の地図については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 者ともに、A B 版となっている。 ・2 者ともに、検索しやすいツメを設けている。 ・両者ともに、資料が豊富で見やすく工夫されている。 ・両者ともに、地理・歴史・公民的分野のそれぞれで活用しやすい資料の掲載や強調文字などの記載の工夫がされている。

社会の目標について

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学年・分野・領域等の目標など】

[地理的分野]

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

[歴史的分野]

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを

説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

[公民的分野]

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

[参考]

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数

地理的分野－115単位時間 歴史的分野－135単位時間 公民的分野－100単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1・2・3学年	地図・701
取扱内容 の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、中心からの距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、第二次世界大戦前のアフリカの独立国を調べたりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界のエネルギー資源の分布と貿易を調べたり、SDGsの目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動 ・「日本の資料図」において、日本の人口分布や増減率の特色を読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然環境や農業等に関する資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 世界の諸地域は84ページ、日本の諸地域は86ページ、資料・統計等は22ページであり、総ページ数は192ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本と結び付きが強い世界の各州に、自然地形をとらえられる鳥瞰図を掲載したり、北海道地方のテーマ資料においてアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「この地図の地図記号・活用方法」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		46・帝国	第1・2・3学年	地図・702
取扱内容 年の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や東京からの距離と方位が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、アジア州の境界を読み取ったり、ヨーロッパの位置を同緯度・同縮尺の北海道と比較したりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、モスクワから各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったり、アメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、東アジアと日本の交流を調べたり、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、東京都周辺の地形図から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 世界の諸地域は61ページ、日本の諸地域は71ページ、資料・統計等は56ページであり、総ページ数は188ページで、前回より約7パーセント増となっている。</p>			

様式 3

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。